

令和5年度 年間学習指導計画案

科目	公共	単位数	2 単位	学年・学科・コース	2年・普通科・スポーツコース
使用教科書	高等学校 公共 (数研出版)		副教材等	教科書準拠版 公共 整理ノート (数研出版)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	現代の諸課題について、様々な資料を基に理解を深め、事実を基に多面的・多角的に考察し、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論を重ねたりして、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚を深めることを目指す。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要となる情報を適切かつ効率的に調べまとめる技能を身に付けている。	現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や原理を活用し、事実を多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを討議する力を身に付けている。	より良い社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うことができたか。また、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚を深めている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	卷頭特集 公共的な空間をつくる私たち	・身近なテーマを取り上げ自由に話しあうことで、公共的な空間を作っていく主体としての自覚を得る。	<input type="radio"/>			・青年期や思想、宗教、多様な価値観などについて、幅広く理解する。	定期考査 授業態度 課題 ノート
				<input type="radio"/>		・自己形成の課題について考察できる。	
					<input type="radio"/>	・主体的に考え、話し合いに積極的に参加し、諸課題を追究しようとする。	
5 6	第1章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	・先哲の思想や生き方を学び、公共的な空間を作る主体としての自己を考察していく。 ・現代の諸課題について考察する。	<input type="radio"/>			・先哲の思想や現代の諸課題を、幅広く理解する。	定期考査 授業態度 課題 ノート
				<input type="radio"/>		・人間としての在り方生き方を、議論を通して考察し表現している。	
					<input type="radio"/>	・主体的に考え、諸課題を追究しようとする。	
7 8 9	第2章 公共的な空間における基本原理	・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理を理解し、日本国憲法で保障されている権利を学び考察する。	<input type="radio"/>			・社会の基本的原理や憲法で保障されている権利について、理解する。	定期考査 授業態度 課題 ノート
				<input type="radio"/>		・知識を基に、個人と社会との関わりについて考察できる。	
					<input type="radio"/>	・憲法で保障されている権利を、自らの生活や生き方と結びつけることができる。	
10	第3章 ルールをつくり守る私たち	・法や規範の意義や役割を理解する。 ・裁判員制度について理解を深め、公正な裁判のあり方を考察する。	<input type="radio"/>			・法や規範、裁判員制度などについて、基本的な事柄を理解する。	定期考査 授業態度 課題 ノート
				<input type="radio"/>		・契約の例や裁判員裁判の例などを通じて、自らのこととして捉え考察できる。	
					<input type="radio"/>	・ルール作りに興味・関心を持ち、積極的に参加しようとする。	
11 12	第4章 政治に参加する私たち	・国内の政治の仕組み、地方自治、選挙制度などに加えて、国際政治にも目を向け、世界の紛争や人権問題について現状を知り、考察する。	<input type="radio"/>			・国内の政治の仕組み、国際政治などについて、幅広く理解する。	定期考査 授業態度 課題 ノート
				<input type="radio"/>		・選挙制度や核軍縮などの現状を理解し、理想の仕組みとは何かを考察し、自らの考えを持つことができる。	
					<input type="radio"/>	・主体的に考え、国際的な人権問題も自らのこととして捉え考察しようとする。	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
1 2	第5章 経済活動を行う私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の企業の役割や経済活動の仕組み、政府が経済に果たす役割などを理解するとともに、国際経済の仕組みにも目を向け、課題を理解し考察する。 	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・経済の基本的な仕組み、国際経済の仕組みなどについて、理解する。 	定期考査 授業態度 課題 ノート
				<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・経済の面でもグローバル化が進んでいることを理解し、日本経済への影響を考察できる。 	
					<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考え、国際的な格差解消のために何をすべきかを考察しようとする。 	
3	課題探究編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の諸課題について、探究するための資料を収集・選択し、討論や発表などを通して深く考察する。 	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・適切な資料を収集し、分析できる。 	定期考査 授業態度 課題 ノート
				<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・自らテーマを決め、収集した資料をもとに意見を組み立てることができる。 	
					<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考え、話し合いに積極的に参加し、諸課題を追究しようとする。 	